

# Stage Up

2002年

9

月号

生涯学習情報誌  
ステージ・アップ  
通巻 No. 113



「永久とわに」(アマガエル) 撮影：川口 道明

もくじ

- 8 7 6 4 2
- 特集 インタビュー 永井栖鳳さん  
生涯学習ア・ラ・カルト  
川崎市生涯学習振興事業団の収支決算  
まちひとと多面体／いま地域で学校で  
イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団  
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1  
TEL 044 (733) 5560(代) / FAX 044 (739) 0085  
ステージ・アップ直通 TEL 044 (733) 5811 E-メール: [stage-up@kpal.or.jp](mailto:stage-up@kpal.or.jp)

## 特集

## インタビュー

かわさきマイマスター 尺八制管師・吹奏教授

## 永井 栖鳳さん

尺八の音を聴くと昭和28、9年の夕刻時のラジオドラマ「紅孔雀」を思い出します。ラジオから流れる素朴な音色は、心に染み入り、安らぎをもたらしてくれるものでした。

尺八は奈良時代、唐から雅楽の楽器として伝来し、改良され、江戸時代に虚無僧が法器として用いたものが原形で、今に伝えられています。明治中頃からは、中尾都山なかお とららが新形式の尺八曲を手がけるなど、芸術音楽に発展してきました。

今号は、高津区上作延で伝統的な技法で尺八を作り、また演奏の師匠として活躍されている永井哲夫さんに登場していただきました。尺八を吹く人は数万人、永井さんのような制管師は全国で20人くらいとか。1999年、その技能が高く評価され「かわさきマイスター」に認定されました。いまなお「竹道」に精進している永井さんからこの世界に入ったきっかけ、師との出会い、学んだことなどを伺いました。



## 制作から吹奏まで 精進して35年 竹道を極める 伝統文化の良さを次代に伝えたい

——永井さんは尺八の制管師（制作技術者）として、また師匠として活躍されていますが、この道に入ったきっかけは？

永井 この道に入ることになったのは23歳の時です。大学に通いながら、大阪にある兄の会社で営業の仕事を手伝っていましたが、性に合いませんでした。将来、自分がどういうふうに生きようかと悩んでいた時期で、禅に惹かれて京都の寺によく出かけていましたね。その頃、上田弘一郎の「竹」という本を読んで、竹の持つ性質と生命力に感動したのがきっかけですね。

——竹に魅せられ、それで尺八づくりに…

永井 竹というのは芽が出てから3ヵ月で一生の姿を作ってしまうんです。それから3年間は自分の身を充実させる。その後は自分が摂った養分を、地下茎を通して次の子竹のために蓄える。また3年経つと、親子で孫の世話をする。そして12年すると自分が枯れていく。それを延々と繰り返している。「必要な分だけ自分で得たらあとは施す」という竹の性質に心を打たれました。そんな竹を生かした物を作りたいなと考えていた時、ふと思い出したのが尺八でした。実家に尺八があったので小学校5年生ぐらいから吹いていましたから。小さいころから物を作るのが好きだったこともあって「もう一度やり直そう」と兄の会社も大学も辞めて上京しました。

——どこかに弟子入りをして修行したのですか？

永井 尺八を作る前に「まずちゃんと吹けなければ」と思い師匠を探し求めて上京しました。工務店に住み込みながら師匠を探しました。ある日、上野の楽器屋で尺八を試奏させてもらっていた時、店主が私の構えを見て「加藤かとうの弟子か？」と聞いてきたのです。初めて耳にする名前でしたが、その先生の住所を聞き出し、仕事が休みの時に自転車で川崎から世田谷の先生のお宅まで行ったんです。すると、60代後半のおじいちゃんがどてらを着て出てきて「本当にやる気があるのなら、来週いらっしやい」ということで教えていただくことになりました。先生は、都山流の始祖、中尾都山から直接教えを受けた方です。

最初の5年は、あまり教えてくれませんでしたし、先生の言葉の意味もわかりませんでした。でも必死になって考え、とにかく練習しました。ある日、師匠から「今月で5年だね。これからぼくと同じように吹いてごらん」と言われました。あとでわかったのですが「5年間続かない者に本気になって教えてもだめ」ということだったのです。加藤先生から演奏と森羅万象を尺八で表現することを20年間仕込まれました。

——尺八の制作はいつ頃から始めたのですか？

永井 演奏を習うのと併行して、尺八づくりも始めました。

こちらは、特定の師がいたわけではありません。加藤先生から紹介された先に赴いて、そこに何日が滞在しては、戻るといふ具合です。そこではたいてい、作業する部屋へ入れてもらえませんでした。外で竹を洗うこと、掃除、買い物などの雑用ばかりでした。全国各地の笛師の所へ行って採り出しメモをして、戻って来ては材料を集めて作っていました。こうして自分流のものを確立していくのに10年かかりました。

—尺八はどういうふうにするのですか。

**永井** 自分で竹を探しに行き、その竹を掘るところから始まります。尺八に適した竹の条件は、太さ、節の間隔、年数など7つありますが、5つの条件を満たしていればいいですね。掘ってきたら根の始末をし、それを油抜きしてから直射日光で1ヶ月干します。その後、最低5年は陰干しにします。仕込みに入るのはそれからです。

穴をあけて、形をつくり、砥の粉と漆を合わせたものを5、60回塗る。次に漆を数十回塗り、調律をします。調律は0.2ミリぐらいの凹凸を管の中につくる作業ですが、竹は1本1本全部違うので、吹いてみて自分の耳で聞き分けながら調整します。音を出しては削りさらに漆をたす。それを繰り返しています。仕込みから完成まで3ヵ月半かかります。今



写真左：掘った竹の油抜き作業。竹はこの後5年陰干しに。写真右：深夜、工房にこもり細かい仕込みをする。

は合成塗料や接着剤のいいものがあるので10日ぐらいでできるのですが、そういうものは将来残らない。本来の尺八の素朴で自然に近い音色を出せないの、私は全て自然の素材で作っています。竹を掘ってから尺八になるまでに5年はかかります。1年に作れるのは20管から30管ぐらいでしょうか。

—永井さんのように尺八制作から演奏までなさる方は少ないと聞いていますが…

**永井** 戦前はたくさんいたらしいのですが、今は少ないようです。笛作りそのものも、分業して合理的なやり方になっています。私がなぜ制作から演奏まで一貫してするようになったかという、加藤先生から「笛屋になるな、笛師になれ」と言われたからです。禅問答のようで、はじめはわかりませんでした。いまはその意味がよくわかります。

加藤先生には尺八だけでなく多くのことを教わりました。「尺八は方便である。その奥に何かがあるか学べ。何事にも感謝する気持ちを持って。そうすることが君の幸せと比例する。形而上の世界を大切にしろ」という言葉がいつも心に響

いています。私は与えられたこと、出会ったことに一生懸命取り組む、ただそれだけです。

—これまで歩んでこられた中で学んだことは何ですか。

**永井** 尺八を習いたいという人が私のところに来たので、師匠に相談すると「教えてみなさい」と言われ、それから何人かに教え始めました。これがとてもいい勉強になりました。自分が師匠から教わる時に「人に教えなければ」という気持ちで習うのでより真剣になりました。「教えることは教わること」だと知りました。

—ところで、学校で音楽(邦楽)の授業の講師もなさったそうですね。

**永井** 学校へ行くと生徒に「世界で最も古い交響楽団がある国知っている？」と聞きます。だいたい西洋の国をあげますが、答えは日本です。雅楽がそうです。1300年前からあるんです。日本の器楽曲で最も有名な「六段の調べ」は八橋検校が作ったのですが、この人はバッハが生まれる以前の人です。日本にも古くから素晴らしい音楽があるのに、そういうことはあまり教えられてきませんでした。自国の音楽のことをあまり知らないのは残念ですね。

本来、日本の伝統的な習い事は、勝ち負けを競うのではなく、習う過程を大切に人間をつくっていく、生き方を身につける、という面がありました。「技」を極めたところにある「道」に至ることが大事という、日本独特の精神性が軽視されていると感じています。

—最後に今後の抱負をお聞かせください。

**永井** これまで、精神的なもの、形のあるものを含めて「古いもの」を捨て過ぎたと思います。何百年も続いてきたものには、それなりの理由があり意味がある。古くても大切なものはたくさんある。それを見極めることが大切です。私は、尺八を通して伝統文化の良さを次の世代に伝えて行きたいと思っています。

### 永井 栖鳳 さん (ながい・せいほう)

1944年、山形県寒河江市生まれ。本名哲夫(てつお)。67年、加藤栖山に師事。87年、尺八鳳鳴会を発足。96年~99年、イギリスの5大学で講演と演奏をする。99年、かわさきマイスターに認定される。2000年、7都市友好代表団としてイギリス・ドイツで講演と演奏をする。この間、PTA会長、保護司、少年警察協働員として活動。現在尺八鳳鳴会主宰。高津区文化協会会員。明暗協会会員。高津区在住。



尺八の奏者として各地で演奏する永井さん

## ●まなぶ●

## パソコンセミナー 受講者募集

- ◆初級ステップアップコース◆ Windowsの基本操作、WORD(ワープロソフト)・EXCEL(表計算ソフト)の基礎、インターネットの操作と利用方法を学びます。
- ◆WORD中級コース◆ 文章や図表作成などWORDの機能を幅広く学習します。
- ◆EXCEL中級コース◆ 複雑な表やデータベース、グラフ作成などEXCEL活用テクニックを身につけます。
- ◆はじめてのホームページ作成講座◆ ホームページの作成、基礎から公開の手順までを行います。

★講座日程と会場 プラザ会場 新百合21会場

	開催日時	コース	講座No
10月	1(火)・2(水)	初級ステップアップ	10-A
	7(月)・8(火)	EXCEL中級	10-B
	12(土)・19(土)	WORD 中級	10-C
	21(月)・22(火)	初級ステップアップ	10-D
	23(水)・24(木)	EXCEL中級	10-E
	29(火)・30(水)	WORD 中級	10-F
11月	5(火)・6(水)	初級ステップアップ	11-A
	7(木)・8(金)	WORD中級	11-B
	12(火)・13(水)	初級ステップアップ	11-C
	18(月)・19(火)	WORD中級	11-D
12月	20(水)・27(水)	ホームページ作成	11-E
	9(月)・10(火)	初級ステップアップ	12-A
	14(土)・21(土)	ホームページ作成	12-B
1月	18(水)・19(木)	初級ステップアップ	12-C
	8(水)・9(木)	WORD中級	1-A
	11(土)・18(土)	EXCEL中級	1-B
	20(月)・21(火)	WORD中級	1-C
	22(水)・23(木)	初級ステップアップ	1-D
2月	28(火)・29(水)	EXCEL中級	1-E
	3(月)・4(火)	初級ステップアップ	2-A
	5(水)・6(木)	EXCEL中級	2-B
	8(土)・15(土)	初級ステップアップ	2-C
	17(月)・18(火)	EXCEL中級	2-D
	19(水)・20(木)	ホームページ作成	2-E
3月	26(水)・27(木)	WORD中級	2-F
	3(月)・4(火)	初級ステップアップ	3-A
	5(水)・6(木)	ホームページ作成	3-B
	8(土)・15(土)	WORD中級	3-C
	17(月)・18(火)	初級ステップアップ	3-D
	19(水)・20(木)	EXCEL中級	3-E

★講座時間…各講座とも9時半～16時半。

★受講料…12000円(テキスト代含)。定員は各15人。

★申し込み…はがき・Fax・電話で。締め切りは各講座開講日の2週間前。第2希望までの講座No、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢、受講目的を明記。

〒211-0064 中原区今井南町514-1生涯学習プラザ内

学習事業室 パソコンセミナー係

問い合わせ 学習事業室 ☎044(733)6626/Fax(733)6697

## 生涯学習ア

## 上海市社区教育交流団が来訪

## 「かわさき市民フロンティア」と懇談

7月6日、中国上海市より社区(コミュニティ)教育の研究者7名が生涯学習プラザを訪れました。



華東師範大学の葉忠海教授を団長に大阪、神戸、東京、川崎の社会教育事情を調査研究するために来日されたものです。川崎市の訪問は、特に市民アカデミーで学ぶ人々との交流が主な目的でした。

当日は、「かわさき市民フロンティア」の会員となごやかに懇談。会員それぞれが学びの自分史を紹介され、訪問団の皆様には深い感銘を与えていました。

川崎市子どもの権利に関する条例—その15  
学校教育推進会議に参加して

学校教育推進会議は、平成13年度の試行期間を経て14年度からは全市立学校(園)で実施されています。会議は校長によって委嘱された子ども、保護者、地域住民、教職員、その他の方によって構成され、より一層開かれた学校づくりを目的に、様々な形で話し合いが展開されます。昨年の会議に子どもの立場で参加した川崎市立聾学校の三浦さんに参加した感想をよせてもらいました。

川崎市立聾学校 生徒会 三浦早苗

今までは、生徒たちと先生方が話し合うという会議はなく、学校教育推進会議がつくられたことを嬉しく思います。第一回目の会議では、文化祭の事や授業の事など、みんなの声を先生方にお伝えすることが出来ました。また、先生方の考えを知ることが出来ました。とても良い経験をすることができました。

今回の会議で、確実によりよい『学校づくり』への一歩を踏み出すことが出来ました。これからも、よりよい『学校づくり』へと進めていくために、先生方と生徒達が理解し合い、一步一步踏み出していきたいと思います。

問い合わせ 市民局人権・男女共同参画室 ☎044(200)2344

## ラ・カルト

## ●はぐくむ●

## 青少年創作センター「秋の創作教室」開催

小・中学生と成人を対象にした「秋の創作教室」を6教室開催します。みなさんの参加をお待ちしています。

<小・中学生の部>

- 陶芸 10月6日～27日の毎週日曜 全4回  
9時半～11時半 費用 1000円
- 版画 11月23日(祝)24日(日)12月7日(土)8日(日) 全4回  
9時半～11時半 費用 500円
- タコづくり 12月1日～14日の(土)・(日) 全4回  
13時半～15時半 費用 1000円
- ケーキづくり 12月22日(日)  
9時半～12時半 費用 2500円

<一般成人の部>

- ピース手芸 10月9日～30日の毎週水曜 全4回  
9時半～12時半 費用 6000円
- はた織り 10月11日～25日の毎週金曜 全3回  
9時半～12時半 費用 3500円
- 申し込み 9月10日(火)までに、往復はがきに教室名、氏名、性別、学校名・学年、☎を記し、下記あてにお申し込みください。  
〒214-0034 多摩区三田2-3303-1  
川崎市青少年創作センター

問い合わせ 青少年創作センター ☎044(911)1510

## ●たのしむ●

## 「健康・体力づくり教室」のご案内

スポーツをする楽しみは、健康の保持増進、体力の向上やストレス解消と人それぞれです。日常生活の中に継続的に運動を取り入れ、健康な心と体を維持し、豊かな健康生活をおくりましょう。

スポーツ事業室では年間を通して、下記のような屋内教室を、生涯学習プラザで開催しています。

## ◆健康体操教室…毎週土曜日・午前◆

継続的に身体を動かし若さと健康をいつまでも。スポーツドクターの健康アドバイスを交えての体操教室です。

## ◆ヨガ教室…毎週火曜日・午後◆

健康ヨガで明るくハリのある生活を。ゆったりとした無理のないポーズと呼吸法、瞑想で心もすっきりします。

## ◆エアロビクス教室…毎週火曜日・午前◆

健康と若さを保ちながらストレス解消。週1回体を動かして、いい汗流してみませんか。

問い合わせ スポーツ事業室 ☎044(733)5572

## ハート &amp; ハーモニー Vol.25

## 現代社会のかかる糖尿病

高等生物のエネルギー源は、酸素で燃やすブドウ糖(火は出ません)です。活性酸素は老化の原因として悪者扱いされていますが、ブドウ糖の毒性の方がよほど心配されるべきです。糖尿病は血液中の必要な濃度(血糖値)を越えたブドウ糖が全身の細胞、特に血管と神経に障害を及ぼす病気です。食物から吸収された血液内のブドウ糖は、すい臓で内分泌するホルモン、インスリンの作用で細胞に取り込まれ、グリコーゲンとして蓄えられます。食後の高血糖を速やかに下げるインスリン作用の相対的な不足が糖尿病で、小児にも多い「本物」の糖尿病(I型:インスリンがない状態)と、身体が大きすぎる(II型:インスリンが足りない)状態に分けられます。日本人は肥満の程度に比べて糖尿病になりやすく、21世紀の国民病の最有力候補です。

I型糖尿病では血糖値のコントロールはインスリン注射で行います。最近では自己注射する人を電車の中でも見る程になりましたが、ブドウ糖センサーと注射ポンプを体内に埋め込む「人工すい臓」が実用化すれば、負担は一気に軽くなります。糖尿病の多数を占めていて、本来はインスリン注射を必要とせず、体重を軽くしてインスリン作用が高まる適度な運動をするのが原則のII型の人まで、安易に人工すい臓に頼るのではないかとまで心配されます。

糖尿病はコントロールが悪いと様々な合併症を生じます。日本ではすでに失明(網膜症)と透析(腎症)の原因の第1位になっていて、毎年1万人近くが新たに透析が必要になっています。医師を対象とした「なりたくない病気」でもガンを押さえてトップです。コントロールのポイントがはっきりしているのに病気が増え続けるとき、その原因は人間の側にあります。身長に見合った体重と体脂肪に適度な運動という、II型糖尿病と縁のないライフスタイルは、21世紀にはマッチしないのでしょうか?

ブドウ糖はまず末梢の細い血管と神経から障害されます。痛みの感覚が鈍くなり、小さな傷が治りにくくなり、進行して脱疽になれば切断せざるを得ません。透析(血液浄化手段)がなければ腎症は確実に死に至ります。また、網膜症で失った視力は回復しません。

増え続けるII型糖尿病を考えると、末端の神経の繊細な感覚や身体の隅々までの血液の循環を大切に考えず、中枢の脳さえ気持ちよければ良いとばかりに食べ続ける巨人の姿が、現代社会のシステムにダブって見えないのでしょうか?

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

# ごらんください 事業団の財布

(財)川崎市生涯学習振興事業団の平成13年度収支決算

当事業団は、市民の自主的な学習活動を支援し、学習機会の提供を行っています。

平成13年度は、かわさき市民アカデミーや資格取得支援講座など各種講座・教室の開催、生涯学習情報の収集・提供、青少年活動・スポーツ事業、生涯学習施設の提供、及び、川崎市が行う生涯学習関連事業の受託や関連施設の管理運営の受託などさまざまな事業を行いました。

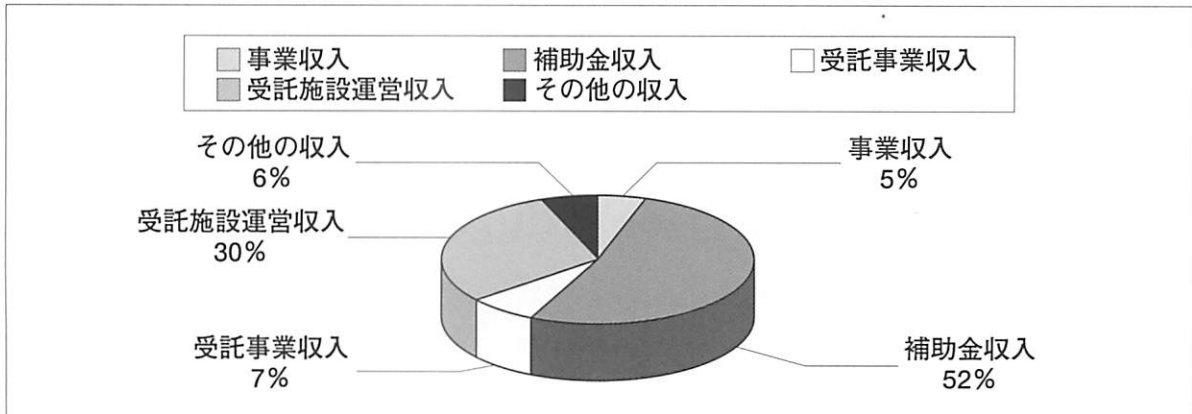
これらの事業は、皆さんからお預かりいたしました施設使用料、受講料収入、川崎市からの補助金や事業受託に伴う受託収入などによって運営されております。平成13年度の財務状況の概要を掲載いたしました。今後とも、より多くの皆様のご利用をお待ちしております。

収入の部		単位 千円
科 目	決算額	
基本財産運用収入	1,725	
事業収入	89,548	
補助金収入	946,923	
受託事業収入	133,571	
受託施設運営収入	545,775	
雑収入	7,570	
繰入金収入	72,095	
特定預金取崩収入	18,057	
前期繰越収支差額	8,369	
収入合計	1,823,633	

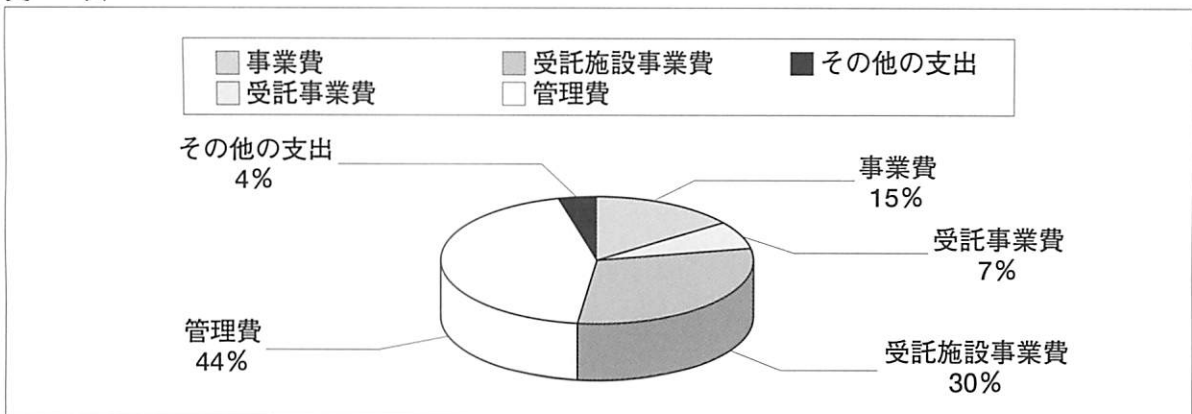
支出の部		単位 千円
科 目	決算額	
事業費	265,460	
受託事業費	134,225	
受託施設事業費	545,775	
管理費	800,465	
固定資産取得支出	660	
繰入金支出	72,095	
特定預金支出	378	
支出合計	1,819,058	
次期繰越収支差額		4,575

収入合計から支出合計を差し引いた4,575千円は14年度に繰り越しました。

## 収 入



## 支 出



## まち・ひと・多面体

## 凛として生きる沖縄の心

## 「沖縄文化同好会」

川崎の沖縄文化同好会（柴田勇会長、会員85人）は昭和32年10月に発足。川崎市在住の沖縄出身者と沖縄文化愛好者により、沖縄の文化を多岐にわたり学び合い、更に発展させたいとして会を結成しました。

同会は川崎区中島2丁目の川崎・沖縄労働文化会館を拠点に、沖縄の文化などに関する講演会を中心に展覧会、映画会などを行っています。沖縄文化の研究者や芸術家を招いての講演会には、東京、横浜方面からも多数参加したそうです。また、沖縄の新聞に講演会の記事が掲載され、沖縄文化同好会の活動が反響をよび、沖縄と川崎の交流のきっかけをつくりました。その他にも、「八重山民俗行事アングマ等」の本土初公開を行い、学会からも評価されています。

伺った日は、昨年度の事業報告と本年度の事業計画が話し合われていました。その後、同会の会員で歌人津波古勝子さんの「沖縄の心を詠う」と題する講演があり、沖縄の誇り・心情を歌に託しての話に心打たれました。懇親会では、今年5月に亡くなられた東京八重山芸能保



存会代表だった赤嶺武さんを偲んで歌と踊りが披露され、沖縄を理解する有意義な1日となりました。柴田会長は「会員が他の会にも所属し活躍しているので、沖縄の文化を極める裾野は広がっており、多文化共生社会をこの地でこれからも築いていきたい」と話してくださいました。

同会では9月14日(土)に「詩人惣之助の沖縄と川崎」と題し柴田会長の講演、12月14日(土)に川崎沖縄県人会と共催で「沖縄島人と大和人の源流」と題し、会員で古代文化研究家の古波津英隆氏の講演を計画しています。

同会の連絡・問い合わせ先：☎(411)8796の柴田さん

## いま地域で学校で

## キクづくりの体験学習に取り組む

## 川崎市立平小学校

宮前区の平周辺は、マンションが建ち並ぶ住宅地ですが、今なお丘陵の斜面には昔からの自然や田畑が残され四季折々の情趣が感じられます。

平小学校（川嶋友子校長、児童数542人）では、数年前から、地元の農家の協力を得て、梅もぎ、サツマイモの栽培、キクづくりなどの体験学習をしています。



初夏のある日、3年生90人が、「総合的な学習の時間」にキクの刺し芽をすると聞いて同校近くの元PTA会長、小川耕平さん宅の畑を訪ねました。

畑には、高さ70センチメートルくらいに青々と伸びたキクが幅1メートル、長さ約15メートルに植えられていました。小川さんの奥さん良子さんから「柔らかい芽を確かめ、上から7・8センチメートルのところを斜めに切ってね」と教えてもらいました。子どもたちは、「このへんかな」と不安な顔、ハサミの入れ方も慎重そのもの。「何本取ってもいいですよ」との小川さんの声に、ようやく自信満々の顔になり2本、3本と切り取りました。「芽は、学校のプランタに刺してください。プランタの土は水気のないサラサラしたものを使うと約3週間で根がつかます」と、今後の栽培の仕方を教わり、子どもたちは「根が出て何色の花が咲くのかな」などと友達と話しながら学校へ戻りました。

根づいたキクは学年園に移植され、子どもたちが肥料を入れたり、水やり、草取りなどの世話をし、毎年11月には素晴らしい大輪の花を咲かせるそうです。

川嶋校長は「自然や人・地域とのふれあいの体験を通して、郷土愛や感動する心を育てていきたいものです」と語っていました。

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●神奈川の浮世絵展～国際港都横浜の今昔

9月5日(木)～28日(土)、砂子の里資料館。江戸から昭和の横浜の移り変りを紹介。無料。日・祝休館。☎☎(222)0310。

●ミニ画廊スナック琴①写真展②デッサン展

①は9月2日(月)～21日(土)。中込和隆の作品。②は9月23日(祝)～10月5日(土)。山寺清蔵の作品。☎☎(544)0507。

●コージーコンサート

9月29日(日)14時開演、桃ホール。音楽愛好家による発表会。無料。当日直接。☎☎(812)6090。

●ランチタイムコンサート～2つの箏によるアンサンブル

9月18日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演は山本亜美、梶ヶ野亜生。無料。☎☎(222)8821の文化財団。

●市民プラザ敬老記念講演～懐かしい唄・思い出の曲

9月11日(水)14時開演。出演は久保幸江。演奏は広瀬義男とアンサンブルローザ。無料。先着500人。☎☎(888)3131。

●市民天体観望会

9月21日(土)18時半、川崎授産学園。秋の星座を観望。無料。当日直接。☎☎(954)5011。

●川崎市立看護短期大学公開講座～①看護講座②特別講演会

①は10月5日(土)10時半。「介護者の体にやさしい援助の方法」「糖尿病との上手なつき合い方」「心の健康とアルコール」。無料。先着各20人。②は同日13時半。パラリンピックゴールドメダリストの成田真由美さんの講演。300人。☎9月17日(火)から電話で。☎(587)3502の同大教務課。

●手話入門講習会

10月1日～11月12日の火曜13時半、全6回。北部身体障害者福祉会館。無料。30人、抽選。☎9月14日(土)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、「手話希望」と記し、〒213-0001高津区溝口1-18-1の同館。☎☎(811)6631。

●社会福祉教室～健康づくりについて

10月12日(土)13時半、南部身体障害者福祉会館。無料。先着60人。☎9月12日(木)から電話で。☎(244)3971。

●講習会～①拡大写本入門②朗読入門

①は10月3日～11月7日の毎木曜10時、全6回。教材費700円。②は10月5日～11月2日の毎土曜13時半、全5回。無料。場所は中部身体障害者福祉会館。☎①9月24日(火)、②9月25日(水)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎を記し、〒211-0068中原区小杉御殿町2-114-1の同館。☎(733)9675。

●清泉ラファエラ・アカデミア秋期講座

9月28日(土)開講のスペイン語など31講座の受講生を募集。場所は同大宮前平キャンパス。受講料は1期10回20000円～27000円。☎☎03(3447)5551の同大生涯学習センター。

●大妻女子大学公開講座～癒しの時代を迎えて

9月21日～10月19日の土曜10時、全5回。内容は「癒しへの懷疑」「災害支援」「追いつめられる子供たち」他。場所は大妻女子大学多摩校。受講料3000円。先着100人。☎9月14日(土)までに往復はがきに①大妻女子大学公開講座②氏名(ふりがな)・性別・年齢③住所・☎④職業を記し〒206-8540多摩市唐木田2-7-1同大事務部公開講座係。☎☎042(372)9988。

●社会人のための大学フェアinかながわ

9月28日(土)11時～17時、かながわ県民センター。県内の大学・短大・大学院の案内や募集要項の配布。体験発表・個別相談あり。☎☎045(312)1121の県生涯学習情報センター。

●ギャラリーでコンサート

1回1時間程度の生演奏で入場無料のコンサートに限り、場を無料で提供。詳細は☎(812)6090のギャラリー桃まで。

●ジャズ・ワークショップ参加者・スタッフ募集

9月～来年3月までの月2回(主に金曜の夜)、ジャズ・ワークショップを開催。最終回は発表会。初回は9月27日(金)19時から。対象は16歳以上。先着60人。無料(ただし楽器などは自己負担)。☎☎(935)3333の多摩市民館。

●混声合唱団「樹林」団員募集

来年11月に開催する演奏会でブラームスの「ドイツレクイエム」を歌います。練習は土曜18時半から宮前市民館他。入会金1000円。会費4000円。☎☎(856)7688の小倉さん。

表紙写真 撮影者からひとこと

ジュズダマが一個実をつけた  
アマガエルが格好のベッドに  
一夜を明かし まだ夢のなか  
平和なりし 黒川の里  
小川も 田畑の土手も  
セメントで固められ  
こんな光景も  
何処か遠くへ 遠ざかつていく  
日本写真作家協会会員 川口 道明

▶自然とふれあいリフレッシュ 岩手県東和町の別荘を市民に開放◀

川崎市生涯学習振興事業団では、緑あふれる友好自治体、岩手県東和町の「グリーンビレッジ」を市民の方々に開放しています。生涯学習の場、リフレッシュの場として、家族やグループでのご利用をお待ちしています。

▶施設……木造平屋建て。和室6畳3室(寝具6組) 台所、リビング、バス、トイレ、テレカ専用電話

▶所在地……岩手県和賀郡東和町百ノ沢7区205-1

▶交通……①東北新幹線・新花巻駅下車、タクシー10分②新花巻駅乗り換え、釜石線土沢駅下車徒歩20分

▶利用対象……川崎市在住・在勤の方(20歳以上の責任者1人が必要)

▶利用日数……原則とし6泊以内 食事は自炊 ▶利用可能人数……6人(夏季は10人まで可能)

▶利用料金……①宿泊料・中学生以上1500円、小学生1000円、未就学児無料

②光熱水使用料・1団体1泊1000円。③寝具類(シーツ・カバー)のクリーニング代は現地で実費支払い

▶申し込み……電話予約後に利用申し込み書を提出 ▶問い合わせ……☎044(952)5000 当事業団新百合分室

※事業団のホームページで、「グリーンビレッジ」を紹介していますのでご覧ください。 <http://www.kpal.or.jp>

◆おわび◆夏季号の表紙写真(青い麦穂の頃)の色調が、オリジナルとかけはなれて印刷されたため、本来の写真の雰囲気を損ね、作者の川口道明さんに多大なご迷惑をおかけしました。ここにお詫び申し上げます。ステージ・アップ編集担当